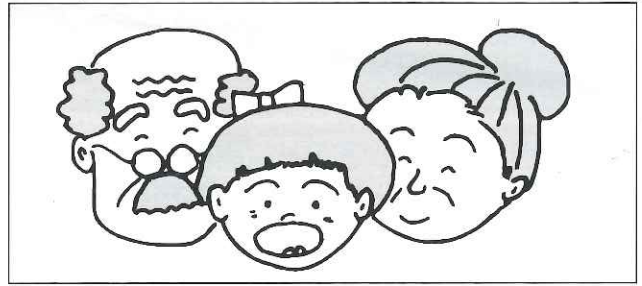


社

協

だより



福祉大会(福祉映画会)を開催します!

2年ごとに開催される、社協功労者表彰並びに福祉映画を上映する「福祉大会」が、今年は下記のとおり、開催されることとなりました。

過去にも高齢者の認知症を題材とした「ペコロスの母に会いに行く」や「折り梅」などの映画を上映しましたが、今年は実際に認知症を抱えるご本人とそのご家族の生の生活を捉えたドキュメンタリー映画「徘徊・ママリン87歳の夏」を上映いたします。みなさまお誘い合わせのうえご来場下さい。

記

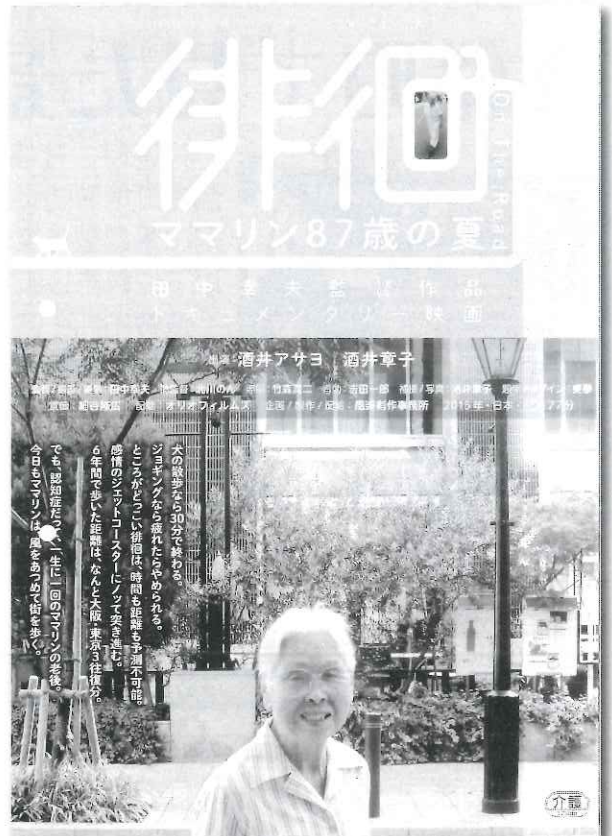
日時：平成30年10月14日(日)
午前10時開会、正午閉会

場所：越生町中央公民館視聴覚ホール
内容：社協功労者表彰並びに福祉映画会
「徘徊」ママリン87歳の夏

監督：田中幸夫 主演：酒井アサヨ

費用：無料

その他：午前9時開場、お席は約200席で先着順となります。認知症を真正面から捉えたユーモア溢れるドキュメンタリー映画です。



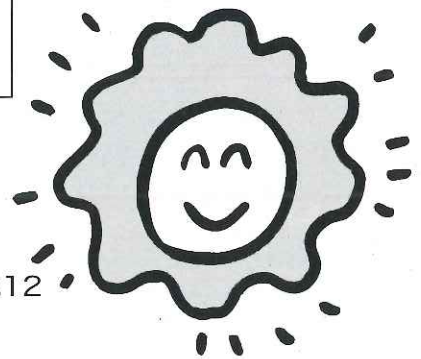
認知症だって一生に一回のママリンの老後
今日もママリンは、風を集めて街を歩く

ご家族、ご友人、ご近所お誘い合わせのうえ、ぜひともご来場下さい。
この機会に、誰もが直面する「老い」について、考えてみませんか?

発行：社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908番地12

TEL 292-2977
FAX 292-5616



この社協だよりは再生紙を使用しています。

豪雨の被災地を応援したい！

越生中学校福祉委員会のみなさまより義援金38,909円をお預かりしました。代表で義援金をお持ちいただいた福祉委員会井上はやて委員長より「西日本豪雨災害の被災者の方々のために、何か僕たちにもできる事はないだろうか」と声をあげました。そして、福祉委員会が中心となって越生中学校全校に声をかけて義援金を集めました。少しでも被災者の方々の復興に役立てたいです。」とメッセージをいただきました。

越生町社協では、引き続き災害義援金を募集しております。現在募集中の義援金は「平成30年7月豪雨災害義援金」「平成30年大阪北部地震義援金」です。なお、大阪北部地震義援金の受付は9月28日までとなっておりますのでよろしくお願いいたします。



越生中学校福祉委員会
井上はやて委員長

真備町で見た景色 災害ボラ活動報告



全国各地から続々と
集まるボランティア

災害時、社協は災害ボランティアセンターの運営を担うことが、越生町地域防災計画に位置付けられています。本会防災担当職員が岡山県倉敷市真備町にてボランティア活動を行なってきましたので、以下に報告します。

倉敷市ハーバーランド駐車場に、他県ナンバーの車が次々と入ってきた。7月21日(土)22日(日)は、高等学校などの夏休みの初日ということもあり何百人ものボランティアが並んだ。5人1グループになり大型バスに乗車。ボランティアを浸水区域内にあるボランティアセンターやサテライトヘピストン輸送していた。私は、倉敷市内のボランティアと滋賀県の高校生ら2グループ10名で被災者宅へ歩いて向かった。道中、鼻を突く悪臭と汚泥混じりの土ぼこりが舞っていた。連日の猛暑で、道路を覆う土が乾いていたためか、散水車も走っていた。公園や道路には家具や冷蔵庫などの水に浸かってしまった災害ゴミの山となっていた。

被災者宅に到着し、家主の方と打ち合わせる。「ようやく大工さんが来てくれたので、1階と2階の壁板を全てはがし、水を吸った断熱材などを全部取り出せる。早く家を乾かさないとダメになってしまう。床下の泥出しは明日以降になる。」壁板の釘を抜き、家の前の道路脇に積み上げる作業を繰り返した。猛暑の中、大切な家の壁の釘を一本、また一本と抜いていく。作業を繰り返しながら、家主の方を見ると、私たちボランティアも涙目になった。汗で涙を上手くごまかし作業と休憩を繰り返した。真備町では、連日、被災者が熱中症や釘の踏み抜きなどで救急搬送されていた。残念ながら、ボランティアも連日救急搬送されていた。

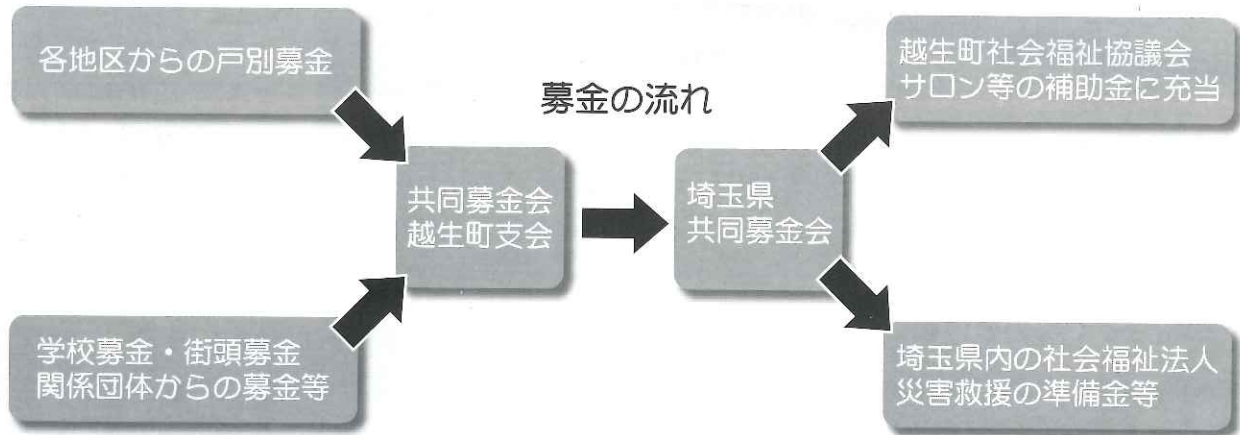
多くの被災地では、亡くなった家族や親戚、友人、近所の方がある中で、復興に向けた作業を毎日続けています。被災地のボランティアニーズは、内容も数も刻々と変化します。県外からのボランティアも募集しているところもあれば、市内在住在勤や近隣市町村、同一県内、要予約などなど制限があるところもあります。これもニーズに応じて変化し、ニーズが終息するとセンターは閉所されます。災害ボランティアに行かれる際は、必ず、被災地の情報を収集しましょう。物資やインフラ、様々な社会のシステムが機能不全に陥っている被災地の迷惑とならないように、自己完結を徹底しましょう。

被災者宅から出された
家財道具の山



災害ボランティアセンターサテライトや↑

はじまります！赤い羽根共同募金運動



今年も10月1日（月）より、全国で一斉に赤い羽根共同募金運動が開始されます。越生町内では、町内各地区自治会を通じての「戸別募金」、小学校・中学校・高等学校を通じての「学校募金」、公共機関を中心に行う「職域募金」も実施いたします。

10月1日「越生駅」「武州唐沢駅」の2ヶ所で、街頭募金を実施します。募金箱の設置協力店舗は「ラーメンショップ太郎」「ニューサンピア埼玉おごせ」「ゆうパークおごせ」です。その他、公共機関窓口にも設置予定です。

上の図のとおり、越生町内で集まった募金の約半分程度が、越生町内へ戻り、来年度の地区サロン・ふれあいいいきサロン事業費補助金やボランティア団体の事業費補助金として還元される予定です。その他は、埼玉県内の公的財源のが行き届かない福祉施設の整備や、ボランティア活動の費用や、国内被災地の災害救援活動にも役立てられます。この募金運動の趣旨をご理解いただき、多くの皆様からのご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



地域支え合いサービス研修日程変更のお知らせ

7月1日発行の社協だより等でもご案内をさせていただいておりましたが、『第2回 越生地域支え合いサービス研修会』は7月28日（土）に開催予定でしたが、台風12号の上陸に伴い、開催を延期とさせていただきます。つきましては、下記日程に開催をいたしますので、地域支え合いサービスにご興味がある方、研修の内容に興味がある方を引き続き募集いたします！お申込みお待ちしております♪

内 容：『常備野菜を使ったクッキング教室』
参加していただく皆さんで様々な案を出し合い、レパートリーに富んだ美味しい料理を一緒に作りましょう♪

日 時：10月27日（土）9：30～12：30

場 所：中央公民館 調理室

定 員：20名 参加費：無料

持 ち 物：エプロン・三角巾・筆記用具

申込締切：10月19日（金）



見えた！ 私のやりたいこと！

7月～8月の夏休み期間中に、町内在住の中学生・町内在住在学の高校生を対象にした『夏のボランティア体験プログラム事業』を実施し、多くの方々からお申込みいただきました。今年度は山吹保育園での保育ボランティア・介護よろずや梅の家（サービス付き高齢者専用住宅）での高齢者施設ボランティア・おごせ福祉作業所での障害者施設ボランティアの3メニューをご用意しました。参加していただいた方々からは「はじめは緊張したけど、普段できない活動が出来てとても楽しかった」「興味のある職業を体験できてとても勉強になった」等の感想をいただきました。

介護よろずや梅の家体験 越生中学校 3年 鈴木綾乃さん

私は、福祉・医療の仕事に就きたいを思っており、今回の活動を通して実際にどのようなことをやっているのか知りたくて参加しました。就きたいと思っている職業の一つを体験出来て良かったです。今回体験してみて、この職業に就きたいと思いました！もともとお年寄りの方とお話をするのが好きなので、もっとこの職業について詳しく知りたいです。本当に良い時間でした！また機会があれば参加したいです！



越生町社協では、ボランティア活動に興味のある方とボランティアさんの力を借りたい方を繋ぐお手伝いをしています。今回の機会に限らずボランティア活動に興味のある方はお気軽にご相談ください！

活躍中！ボランティアさん紹介コーナー

越生地域支え合いサービスボランティア会員 千島 一郎さん

越生地域支え合いサービスとは、町内在住の高齢者や子育て中の方を対象に、日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いするサービスです。千島さんは、高齢者の方の通院やお買い物などの外出支援を中心に活動され、移動中や院内での付き添いの待ち時間なども利用者さんに気を配り温かい支援をさせていただいております。

Q. ボランティア活動をはじめたきっかけは何ですか？

以前中学校の教員をしていた頃、校内活動の一つとして赤十字ボランティアクラブを立ちあげました。活動の中で新潟中越地震の義援金街頭募金活動を行うと多くの方に協力していただき、その後も生徒たちは積極的にボランティア活動をするようになりました。不登校だった生徒も、学校に毎日来てボランティア活動に協力するようになり『だれでもだれかの力になることができる！』ということを再認識した機会でした。この経験からボランティアに興味があったので、友人が支え合いサービスの活動を始めないかと何度か誘ってくれたこともあり、月に数回であればと始めて見ることにしました。

Q. 活動を通して感じたことはありますか？

いざ始めてみると、利用者さんとの関わりは学びが多く、なに事にも変えることのできない喜びがありました。これまで自分自身も人生を通して様々な人と関わり、多くの経験をしてきましたが、感じたことのない心持ちです。言葉にすることがとても難しいですが、経験することで心が満ちてくるだけでなく、“自分自身の中にある実が熟していく！”という感覚です。利用者さんと関わることで、嬉しい気持ちや楽しい気持ち、逆に過去の体験を聞いて悲しく哀切ない気持ちになることもあります。その方の生きてきた証に触れることで、とてもあたたかい心になることができます。今では、この活動が自分の生活の中で無窮のよるこびになっており、エネルギーの根源となっています。皆様とともに存ることがとても“ありがたい”です！

